



いつくるかわからない 災害に備え

9月2日に防災訓練



なお今年の訓練は、津波を警戒して消防団による海面監視がありました。



9月2日、町民を対象に大規模地震を想定し、防災訓練が行われました。

視に重点が置かれました。また、各小学校でも防災週間にちなみ、火災や地震を想定した防災訓練を実施しました。児童たちは、防災頭巾をかぶり机の下や校庭に避難したりいつくるかわからない災害に備え真剣に取り組む姿が印象的でした。

服装もチエツク

井戸豊さん(関・海面監視実施) ※津波を経験したことがないので、ピンときません。

椎名ナツさん(五ノ神・57歳) ※昨年服装について説明を聞いたので、今年は気をつけてきました。毎年参加しており、消火器の使い方もわかるようになりました。

伊橋実さん(五ノ神・79歳) ※年寄りの方が、危険だと思

い毎年参加しています。

鈴木茂喜くん(南条小・5年) ※訓練は落ち着いてできませんでした。家でも普段から安全な場所を考えています。

加瀬利子さん(日吉小・4年) ※学校で訓練しているので、地震があっても落ち着いてきます。

趣向で、こらした、応援合戦

中学校体育祭

9月9日、恒例の中学校体育祭が行われました。

堂どうの入場行進を始め、各種競技が盛り込まれ、中でも1年生親子の大漁節が披露されたり、ユニホームでの部活動入場行進や趣向をこらした応援合戦など、見ごたえのあるものでした。

昼食時には、家族と一緒に校庭でお弁当をほおぼる姿が見られました。

最後に校長先生から「1人も手抜きをしている者がなく最後までりっぱな運動会でした。これからも伝統を引き継いでください。」の講評がありました。秋の一日スポーツに汗を流しました。

思い出に残る体育祭

吉羽知美さん(3年・応援団) ※応援の練習時間が少なく心配でしたが、協力して本番がよくでき、いい思い出になりました。

菱木淳くん(3年・応援団) ※3年間の中で、一番思い出に残る体育祭でした。

渡辺よし子さん(木戸) ※応援合戦が楽しみで見にきました。

孫が選手で走っている姿が見られてよかったです。

